

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 1 月 20 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
「おいしいお茶の提供」という事業活動を通じて社会の幸福の追求と持続可能な地域社会の発展に寄与する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
自然植物由来のティーバックの採用により、脱ペットボトル化を図り地球環境に優しい新しいお茶の楽しみ方を提案する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	ホームページや取引先を通じてお茶の効能とお茶のある暮らしの豊かさを伝えて行く。	「お茶は飲むマスク」等のPOP制作提供。夏のフレーバーティー40%アップ、お茶のある暮らしの入口づくりに成功。	ホームページのリニューアル。魔法のTBを使用したお茶のある暮らしの提案をする。
	制度の継続的な運用と、社員への周知の徹底化。 (食堂などへの掲示)	男女それぞれ育児休業実施をスタートし、1名ずつ実績。	制度の継続的な運用と社員への周知の徹底。 (食堂などへの掲示)
	現在普及している植物由来のティーバックは当社と東社の共同開発であり、全国で広く採用されるに至っている。この取組を継続発展させて行っていく。	リーフティーバックは、確実に増えている。特に夏場の水出し商品は40%アップだった。	環境に優しいティーバックの普及を更に進めていく。
	衛生・安全に関する取組を強化し、一層の安心を消費者にお届けする。 (手順書に定められた衛生管理基準を確実に実施し記録する。)	本社工場 FSSC22000継続認証。 平和・牧ヶ谷工場 静岡県ミニHACCPを継続認証	衛生・安全に関する取り組みを強化し、一層の安心を消費者にお届けする。
	環境に負荷をかけないティーバック使用の促進。更に包装紙なども今後工夫を加える。 (再生紙使用率10%UP)	ティーバックの使用は、確実に増えている。増えた数だけペットボトルの減が期待できる。	環境に負荷をかけないティーバック使用の促進。更に包装紙なども今後工夫を加える。
	緑茶の復権により減少した茶畑の再拡充を目指し、陸の緑の発展につなげる	ティーバックを使用した、お茶の普及は確実に進んでいる。	引き続き、緑茶の復権により減少した茶畑の、再拡充を目指し、陸の緑化の発展につなげる。

(記載上の注意)

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	竹沢製茶株式会社	
2	業種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	60人	
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役
		氏名	竹澤重人
5	所在地	〒420-0005	
		静岡市葵区北番町61-2	
6	ホームページURL	http://www.takezawa-seicha.co.jp	